

虹懸



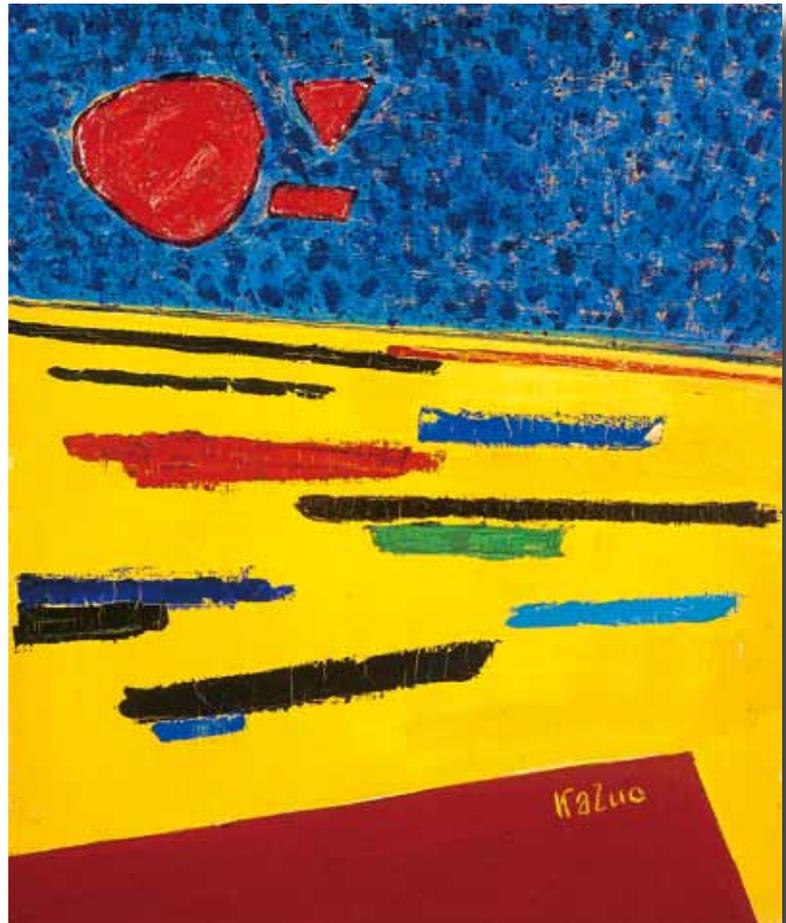
公益財団法人 星総合病院

特集

褥瘡

(床ずれ)の予防

- 星訪問看護ステーションしずか開所
- キラリ☆ふれあい広場
- 第87回集談会
- 有料個室病棟オープン
- 自立支援用・介護支援用ロボット納入
- 農業プロジェクト
- 施設ニュース
- トピックス



夏の海 (F20、1979)
星 一雄

【醫】

【靈】

二つ上の兄が怪我をして星総合病院に救急搬送されたのは、私が中学一年生の時だった。何度か見舞に訪れた時の明るい病院の雰囲気や職員の方達の優しさに憧れて、「大人になったらこの病院で働きたい」と思った。それから30年以上が経ったが、私は今、公益財団法人星総合病院の職員として働いている。そして、今年の6月に町立三春病院に着任した。地域の皆様にも温かく迎えて頂き、少しでもお役に立ちたいと考えている。

今年度の当院の目標は、「地域包括ケアシステムの充実」である。具体策として、今年4月に「入退院支援室」を設置した。この部門には、病診連携機能と入院時から退院を支援する機能がある。昨年度開始した24時間体制の在宅訪問診療、訪問看護と併せて地域の皆様が「住み慣れた地域でその人らしく生活できること」を支えることを目標にしている。

現在、近隣の医療施設から1日数件の入院、転院の相談があり、「相談しやすくなった」という声も聴かれている。また、地域の医療施設、介護施設の職員との研修会や情報交換会等を開催し「顔の見える関係作り」の構築を図っている。

病院としての機能を最大限に発揮し、地域の皆様に「三春病院があつて良かった」と言われ続けるように努めていきたい。

町立三春病院
事務長 島田 紀江

じょく そう 褥瘡 (床ずれ) の予防



星総合病院病院長補佐兼形成外科部長

佐瀬 道郎

日本形成外科学会専門医
皮膚腫瘍外科指導専門医
日本熱傷学会専門医
日本創傷外科学会専門医

はじめに

高齢社会の対策の一つとして1995年ころから褥瘡の研究に国が力を入れはじめました。医学生が褥瘡を学ぶようになったのも2000年以降です。ここ10年でかつての常識は覆され、新しい考え方が導入されてきました。しかし、ごく一部の医療従事者にしか褥瘡の知識は浸透しておらず、高齢者を抱えている家庭でもあまり知られていないようです。

褥瘡とは

高齢の方に発生することが多いのですが、寝たきりの方だけに発生するわけではありません。元気に外出している方にも、高熱で数日寝こんだ時や入院して手術を受けた後などに発生することがあります。皮膚が赤くなる軽度のものから、水疱ができる初期のもの、皮膚が死んでしまい紫色～黒色になっているもの、死んだ皮膚が取り除かれて脂肪や筋肉・骨が出ている状態など褥瘡にもいろいろあります。褥瘡予防のマットレス（体圧分散寝具）を使っているにもかかわらず発生することがあり一旦発生するとなかなか治りにくいので褥瘡は予防することが大切です。

褥瘡ができる時、できやすい部位

- ①睡眠時に寝返りができない人が、硬めの布団に寝ていると数時間で褥瘡が発生します。この時、あお向けに寝ていると仙骨部に、横向きに寝ていると腸骨部や大腿骨大転子部に発生します。寝返りができなくなるのは、老衰が進んだ時、向精神薬の大量服用時、糖尿病性昏睡、脳出血・梗塞、麻酔中、高熱で体力がない時、人工呼吸中など様々な原因があります。自宅の廊下でくも膜下出血により腹ばいに5時間倒れていた方の頬部・肩・腸骨・膝・足の複数部位に発生した例もあります。
- ②座っているときに態勢が保てないで崩れてしまう方、座り直しができない時にも発生します。座ることのできない人を無理やり座らせると、ずれ力が働いて突出している背骨や尾骨に発生します。脊損者などでお尻の感覚が鈍い方で車いす生活の方は、約15分～30分毎にお尻をプッシュアップして浮かせないと坐骨部や尾骨部に発生します。

褥瘡の予防

褥瘡予防には大きく3つのことが大切です。第1には、体圧分散寝具という褥瘡予防のマットレスを使用することです。体圧分散寝具には静止型のもの、高機能エアマットレスの2種類があり、寝返りができるか、仙骨部の骨突出（図1）、浮腫、拘縮の4項目を評価する0Hスケールの点数から選択します（図2）。在宅の場合は介護保険を利用すると比較的安価にリースが可能です。

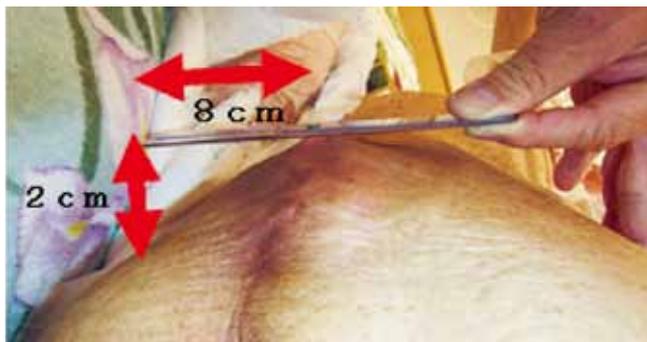


図1 病的骨突出

仙骨の中央から8 cm離れた部位は健康人では仙骨部より高くなっています。大殿筋の委縮や皮下脂肪の減少により仙骨が相対的に突出した状態を病的骨突出といいます。特に2 cm以上の差があると高度骨突出と判定します。

図2 OHスケール

1. 寝返り	できる 0点	どちらでもない 1.5点	できない 3点
2. 病的骨突出 (仙骨部)	なし 0点	軽度・中等度 1.5点	高度 3点
3. 浮腫	なし 0点	あり 3点	
4. 関節拘縮	なし 0点	あり 1点	

OH点数	褥瘡発生率	体圧分散寝具
1～3点	10-25%	静止型
4～6点	30-65%	高機能型
7～10点	65%以上	高機能型

関節拘縮：四肢の可動域制限をみる
 浮腫：足背、前脛骨部、背中などでみる
 病的骨突出（仙骨をみる）

第2には、体圧分散寝具に加えて、クッションを使用することです。拘縮がある方には6-7個のクッションが必要です。車いす用のクッションにも褥瘡予防のものがああります。第3には、ずれ力を除く圧抜き（背抜き、腰抜き、足抜きとも言います）を介護者が2-3時間毎（夜間は除く）に実施することです。チルトタイプの車いすや、ベッド上での頭側挙上時には背抜き（図3）を行い背中に発生しているずれ力を解放しないと胸椎・腰椎・臀部に褥瘡が発生します。また側臥位時には腰抜きを（図4）行い腸骨部・大転子部のずれ力を解放すると褥瘡予防となります。



図3 背抜き
 ベッドから背中を離すだけで背中へのずれ力が解放され背部の褥瘡予防になります。



図4 腰抜き
 滑りやすいポリエチレンの袋を手につけてお尻周囲の体重がかかっているところに挿入します。挿入するだけでずれ力が解放されます。



星総合病院での院内発生褥瘡の現状と対策

東日本大震災前の旧病院での体圧分散寝具の導入率は20.8%でした。2013年1月の新病院移転に際し小児病棟を除く全病床と透析室・化学療法室に4種類の体圧分散寝具を導入しました。このうち55台は自動体位変換機能付のエアマットです。静止型体圧分散寝具は、褥瘡発生の危険のない患者さんにも有用で安眠効果が得られます。院内褥瘡発生率は、旧病院では年間8,000人の新入院に対し約90名（1.1%）の発生でしたが、新病院移転後約2年間では16,000人の新入院に対し約90名（0.56%）の発生と半減しました。部位別には踵部が最多で35%、次いで仙骨部26%、尾骨部18%でした。これらの結果から体圧分散寝具を使用しているも踵の褥瘡はあまり予防できないこと、全身状態が急激に悪化した時に体圧分散寝具を見直すべきこと、坐位時の発生が多いこと等がわかりました。院内発生率をゼロに近づけるために2014年11月から下肢にクッションを導入し踵等の褥瘡対策を始めました（図5）。今後は①体圧分散寝具の適正選択、②圧抜きの励行、③自動体位変換機能の有効活用が課題と考えています。



図5 写真左の状態が3時間程度続くと高機能型体圧分散寝具を使用しているも踵部に圧力とずれ力が働き褥瘡ができます。大腿からアキレス腱までクッションを各下肢に1個ずつ使用し、足底にも1個使用すると踵部褥瘡予防と尖足予防になります。

星訪問看護ステーション しずか 開所

7月1日、当法人4ヶ所目の訪問看護事業所「星訪問看護ステーション しずか」を郡山市御前南に開所しました。

ご家庭で療養生活をされている方が、住み慣れた家や地域で安心した生活をおくれるよう、主治医の指示のもとに訪問し看護サービスを提供致します。



〔スタッフ紹介〕

所長 影山 啓子(看護師)写真中央
岩崎富士子(看護師)写真右
佐藤 直美(保健師)写真左
私たちにお任せください。

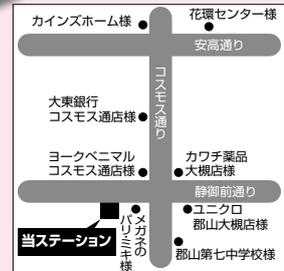


当法人キャラクター
“ほしくま”の看板が
目印です



【星訪問看護ステーション しずか】

住所 : 〒963-0209 郡山市御前南5丁目18番地
ウエストパークB棟102号
電話 : 024-983-6410 (24時間体制)
FAX : 024-983-6420
メール : shizuka-st@hoshospital.jp
営業時間 : 月・火・水・金・土曜日 8:45~17:15
木曜日 8:45~12:30
※第3木曜日と日祝日、12/31~1/3を除く



サービス内容

健康状態の観察 健康相談	日常生活の看護 (清潔・排泄ケアなど)
医療処置 (カテーテル管理や 床ずれの処置など)	療養環境の整備 福祉用具の相談
認知症の看護 介護相談	精神・心理的な看護 (日常生活の支援など)
在宅リハビリ	在宅ホスピス

訪問看護を希望される方は、訪問看護ステーション、主治医、担当ケアマネージャー等にご相談ください。24時間体制で行います。

キラリ☆ふれあい広場 好評開催中

星総合病院

地域住民の皆様との交流・健康に関する情報発信の場として、6月より「キラリ☆ふれあい広場」をスタートしました。毎週火曜日午前中、かがやき健康館前広場において健康教室やおおぞら市などを行っています。7月からは、郡山市の委託を受けて「こおりやまオレンジカフェ☆キラリ☆」(認知症カフェ)を開所しました。多くの皆様のお越しをお待ちしております。

「ミニミニ健康教室」

- ▶ 10:30~11:00 参加無料。事前申込は必要ありません。
4日 「肺の病気について知ろう」(臨床検査技師)
11日 「糖尿病について知ろう」(保健師)
18日 「熱中症と腎臓の深〜い関係」(透析療法指導看護師)
25日 「お口から始まる健康づくり」(歯科衛生士)



「こおりやまオレンジカフェ☆キラリ☆」

(郡山市の委託事業)
※郡山市で2ヶ所目

- ▶ 11:00~12:30 / 開催日: 毎月第2・第4火曜日 / 参加費: 200円
認知症の人とその家族、介護職の方、地域の方など、どなたでも参加いただけます。何でも話せる息抜きの場として、情報交換の場として、参加者との語らいで過ごしませんか。また、認定看護師や臨床心理士、リハビリスタッフ、社会福祉士などが健康・医療等に関する困りごとの相談に対応します。



「おおぞら市」

- ▶ 10:30~13:00頃
地元農家さんによる農産物等の販売、地元の野菜を使った健康食(管理栄養士考案)の無料提供。



8月の予定

第87回集談会

6月25日 メグレスホール

当法人では、地域医療機関の先生方と当法人職員が最新の医療を学ぶ場として、また職員の研究成果の発表の場として、年2回集談会を開催しています。

今回の特別講演には、福島県立医科大学医学部 病理病態診断学講座教授の橋本優子先生をお招きし「コンパニオン診断：分子標的を診る病理診断へ」をテーマにお話しいただきました。職員からは、計10題の一般演題の発表が行われ、各施設各部署の取り組みについて理解を深めました。職員356名が参加しました。



特別講演の発表

《一般演題》 総司会 星総合病院 形成外科 佐瀬 道郎

◎座長 星総合病院 臨床工学科 二上 倫嗣

- | | | |
|---|------------------|-------|
| 1. 精神科病院における精神保健福祉士の役割の変化
～平成26年度の医療保護入院者の動向を踏まえて～ | 星ヶ丘病院 総合相談・地域連携室 | 松原 弘子 |
| 2. 最期まで音楽療法士として生きた患者を通して学んだこと | 星総合病院 緩和ケア病棟 | 滝澤 礼子 |
| 3. スポーツ外来の概要とリハビリテーション内容についての報告 | 星総合病院 リハビリテーション科 | 安齋 勇気 |

◎座長 町立三春病院 入退院支援室 大内 京子

- | | | |
|-----------------------|------------------|-------|
| 4. ライブフォンシステム 試行報告 | 星訪問看護ステーション | 岩浪江美子 |
| 5. 在宅復帰支援チームからの報告 | 介護老人保健施設オリオン 看護部 | 吉田 信也 |
| 6. 放射性医薬品における介入研究について | 星総合病院 放射線科 | 続橋 順市 |

◎座長 星総合病院 循環器内科 金子 博智

- | | | |
|--|----------------|-------|
| 7. 当法人における地域医療及び看護レベル向上のための取り組み
～どこでもメディカルセミナー開催報告～ | 星総合病院 教育研修センター | 渡辺 由紀 |
| 8. 誤嚥防止手術により安全な食が守られ在宅生活復帰が可能となった反復性嚥下性肺炎例 | 星総合病院 臨床研修医 | 横田 季 |
| 9. 3D-CTA所見から可逆性脳血管攣縮症候群を疑った一例 | 星総合病院 臨床研修医 | 伏見 友希 |
| 10. 乳癌リンパ節転移術中迅速検査OSNA法の導入 | 星総合病院 病理診断科 | 緑川 勝彦 |

《特別講演》 座長 星総合病院 中央検査科 斎藤 武郎 演題 「コンパニオン診断：分子標的を診る病理診断へ」

講師 福島県立医科大学医学部 病理病態診断学講座教授 橋本 優子 先生

星総合病院

有料個室病棟をオープン

5月より、1階の有料個室病棟（1STV病棟）をオープンしました。

治療に専念できる静かで快適な環境を実現し、患者さんのアメニティを重視した様々なタイプの個室をご用意しています。全室中庭に面し、室内から四季折々の景色をご覧いただけるほか、遊歩道の散策も可能です。

個室を希望される場合は、入院申込時にお申し出ください。

また入院後に個室への転室もできますので、病棟スタッフまでお問い合わせください。



*写真は全て特別室です

個室料金・設備

階数	部屋数	1日料金 (消費税別)	広さ(m ²)	設備・備品
1階	特別室 3室	45,000円	36.31	ミニキッチン・冷蔵庫・調理器・イス・テーブル・スタンド・洗濯機・乾燥機・ユニットバス・トイレ
	個室A 20室	13,000円	13.80	ミニキッチン・冷蔵庫・イス・ユニットシャワー・トイレ
	個室B 22室	8,000円	14.97～18.36	ミニキッチン・冷蔵庫・イス・トイレ
2～4階	個室C 17室	6,000円	19.60～22.29	イス・丸テーブル

自立支援用・介護支援用ロボット納入

星総合病院は、「平成27年度医療施設用ロボット導入モデル事業」に係る検証実施病院に選ばれました。この事業は、自立支援用・介護支援用ロボットを先進的に導入し医療現場での運用方法を検証するため、県が一般財団法人ふくしま医療機器産業推進機構に委託し実施されるものです。

当院に納入されるロボットは、サイバーダイナミクス株式会社の「HAL®」で、下肢タイプ、単関節タイプ、腰タイプの3タイプ。平成28年3月までの期間限定です。

職員の介助負担の減少、患者さんの安全な立位等の確保が期待されます。

7月7日、当院へのロボット納入にあたり、職員を対象とした安全講習会が開催され、リハビリテーション科職員約30名が参加しました。メーカー担当者によるロボットの使用方法や取扱いについての説明が行われました。

当院ではリハビリテーションの一環として機器を使用しております。まずは試験的に入院患者さんを対象に運用を進めていく予定です。



農業プロジェクト

「星アグリノベーション」

当法人は、医療と農業の連携により新しい地域コミュニティの場を構築し、地域創生に繋げていくことを目指し、今年度より農業事業に参入致しました。高齢者・精神障がい者の生きがいの創出、精神障がい者の生活基盤確保、地域農業の活性化への貢献等を目的としています。農業法人化に向けて、プロジェクトメンバーが中心となり活動を進めております。



プロジェクトメンバー

写真トピックス



5月14日
職員や敬老園入園者、保育園児総勢60名で田植えを実施。品種はひとめぼれ。



5月19日
三春病院敷地内の畑へ、敬老園入園者の皆さんが野菜の苗を植え付けました。



7月17日・21日
あおぞら市に出店している地元農家さんを訪問。取材・情報収集にご協力いただきました。

広報紙「星アグリだより」、Facebook等で活動やイベント情報などを発信して参ります。今後の活動にご注目ください。

施設ニュース

星総合病院

七夕コンサート

7月11日

メグレズホールにて毎年恒例の七夕コンサートを開催しました。出演団体は、保育園合同チーム、三春レディ・バグズダンスクラブ、養護老人ホーム三春町敬老園、スティールパンバンドミソラ、安積高校弦楽合奏部、須賀川市立第二中学校合唱部の皆さん、そして当法人職員フラダンス同好会。様々なジャンルのステージをお楽しみいただき大盛況でした。会場内のホワイエには七夕飾りが設置され、色とりどりの短冊には願いごとがたくさん書かれていました。患者さんやそのご家族、地域の方々など約270名の方々に参加いただきました。



三春町立三春病院

さくら湖マラソン 救護ブースを担当

6月14日

三春町で第18回さくら湖マラソンが開催され、三春病院が救護ブースを担当しました。参加者の皆さんの健康チェックやけがの手当てを行い、大会をサポートさせていただきました。マラソン大会には職員5名が参加し全員完走しました。ランナーや地域の皆さんとの交流を深めることができました。



介護老人保健施設オリオン

運動会

6月13日

オリオンの利用者さんとご家族、さらに養護老人ホーム三春町敬老園の皆さんなど約200名が参加しました。4チームに分かれ、パン食い競争、玉入れの得点を競いました。競技の合間には応援に駆け付けてくれた星ヶ丘保育園児がかわいいダンスを披露。また田村高校生が振付を考えた「上を向いて歩こう」を全員で踊り、楽しい時間となりました。



ポラリス保健看護学院

戴帽式

5月9日

ご両親や在校生、教職員が見守る中、吉村美和子副学院長より2年生39名一人ひとりにナースキャップが与えられました。

またキャンドルサービスでは、先輩から引き継がれた看護の灯火をナイチンゲール像から各々のキャンドルに灯し、戴帽生全員で誓いの言葉とナイチンゲール誓詞を唱和。看護の道を歩む決意を新たにしました。



養護老人ホーム三春町敬老園

音楽交流会

7月16日

三春町交流館まほらにおいて、福島県養護・軽費老人ホーム、ケアハウス県中南・浜通りブロック協議会が主催する「第28回音楽交流会」が開催され、三春町敬老園入園者の皆さん17名が参加しました。

6名が自慢のカラオケを披露。さらに、健康体操を全員で踊りました。音楽を通して、他施設の方々と交流を深めることができました。



トピックス

「地域学術振興賞」を受賞

星総合病院の木島幹博特任病院長が、福島県立医科大学医学部同窓会の「地域学術振興賞」を受賞しました。低左心機能症を合併している冠動脈疾患患者に対する治療法選択で、内科医と心臓血管外科医の協力体制の重要性などをまとめた研究論文が評価されての受賞となりました。



ポラリス保健看護学院 第17回北極祭のご案内

日時：平成27年9月19日(土) 10:00～14:00

テーマ：「つながる～感謝の輪、人との輪を広げる～」

内容：白衣体験、ハンドマッサージ、足湯、血管年齢測定、健康教室、マタニティビクス、ちびっこ縁日

場所：ポラリス保健看護学院

一般公開の学院祭です。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

3つの家族性腫瘍患者家族会が設立されました

特定の遺伝子が原因でがんになりやすい家族性腫瘍の患者さんやそのご家族が集まり、交流や悩み等を分かち合える場を提供しようと、星総合病院が中心となって働きかけを行い、7月29日、3つの家族性腫瘍患者家族会が設立されました。

設立患者家族会

◆「ノール・アルモニー」

対象疾患：家族性大腸腺腫症

*全国組織（おもに関東、関西）の東北支部として設立

◆「クラヴィス・アルクス 東北支部」

対象疾患：遺伝性乳がん・卵巣がん

*全国組織（本部は東京）の東北支部として設立

◆「team NOLY」

対象疾患：リンチ症候群（遺伝性大腸がんの一つ）

*全国初のリンチ症候群患者家族会として設立

今後の予定

イベントやミニ集会など、定期的な交流の場を設けていく予定です。

入会申し込み
お問い合わせ先

星総合病院 認定遺伝カウンセラー 赤間 TEL.024-983-5511(代)



合同設立総会のようす



公益財団法人 **星総合病院**

●星総合病院

〒963-8501 福島県郡山市向河原町159番1号
TEL 024-983-5511

●星総合病院 在宅介護支援センター

TEL 024-983-5515

●ほしのご保育園

TEL 024-983-5519

●星ヶ丘病院

〒963-0211 福島県郡山市片平町字北三天7番地
TEL 024-952-6411

●星ヶ丘訪問看護ステーション

TEL 024-962-1711

●居宅介護支援事業所星ヶ丘

TEL 024-952-6414

●星ヶ丘保育園

〒963-0211 福島県郡山市片平町字北三天7番地3号
TEL 024-951-0788

●介護老人保健施設 オリオン

〒963-0211 福島県郡山市片平町字峯三天2番地
TEL 024-952-6413

●三春町立三春病院(指定管理)

〒963-7752 福島県田村郡三春町字六升時50
TEL 0247-62-3131

●三春訪問看護ステーション

TEL 0247-73-8270

●ほし横塚クリニック

〒963-8803 福島県郡山市横塚二丁目20-36
TEL 024-956-7778

●星訪問看護ステーション

TEL 024-956-2322

●芳賀・小原田地域包括支援センター

TEL 024-941-1121

●星訪問看護ステーション しずか

〒963-0209 福島県郡山市御前南5丁目18番地 ウエストパーク8棟102号
TEL 024-983-6410

●養護老人ホーム 三春町敬老園(指定管理)

〒963-7752 福島県田村郡三春町字六升時50番地の1
TEL 0247-62-3618

●ポラリス保健看護学院

〒963-8801 福島県郡山市向河原町159番7号
TEL 024-983-5010

●三春町第1保育所(指定管理)

〒963-7769 福島県田村郡三春町担橋1-4-1
TEL 0247-62-3839

ご意見をお聞かせ下さい。

ホームページアドレス

<http://www.hoshipital.jp>

発行／公益財団法人星総合病院

編集／法人広報部

発行日／平成27年7月

住所／〒963-8501

郡山市向河原町159番1号

七月二十九日に「家族性腫瘍患者家族会」の合同設立総会が開催され、私も広報として参加させて頂いた。東北地区初の家族性腫瘍患者家族会と聞き、県内はもとより、県外からもこの日を心待ちにしていた患者さん、ご家族が集まりました。野水病院長、会の設立に尽力した認定遺伝カウンセラーの赤間さんの講演に続き、メンバー一人ひとりが自己紹介。さらに、手術・通院・検診・医療費・家族・遺伝等をテーマに、グループトークが行われました。メンバークの話は、できるだけ、笑顔の中、和やかにアットホームな会となりました。同じ疾患を持つ当事者同士が本音で語り合える、そして互いに支え合える場所として、患者家族会の意義を改めて理解した貴重な時間となりました。

広報担当 菅野

編集後記